

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	卵巣明細胞腺癌が産生する TFPI2 の臨床病理学的解析
	研究目的	卵巣癌は発見が難しく、中でも、明細胞腺癌は欧米諸国に較べて日本人に多く、抗がん剤による治療にも抵抗性を示すことから、我が国で、血液から明細胞腺癌が見つかる腫瘍マーカーや治療法の開発研究が進むことが期待されています。先行する研究から、この腫瘍マーカーの候補として TFPI2 というタンパク質を見つけ出しましたが、このタンパク質が卵巣明細胞腺癌でどんな働きをしているか全く解っていません。この研究では、2005 年～2017 年に当院で卵巣がん切除術を受け、包括的な研究への同意が得られている患者様の検体、データを使用し、主に免疫染色という方法で、卵巣癌での TFPI2 タンパク質とその関連する分子の発現を検討し、患者さんの診療経過と比較して、その機能を探ることを目的としています。
	研究期間	西暦 2018 年 4 月 27 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(血清) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、婦人科、臨床研究所がん分子病態学部 / がん治療学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし